

平成 29 年度 第 4 回理事会 議事録

平成29年7月13日19時00分、大宮ソニックシティ5F第501会議室において、理事会を開催した。

定刻に、代表理事 宇田 英幸が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事 総 数	21名
本日の出席理事数	19名、委任状提出1名
監 事 総 数	2名
本日の出席監事数	0名、委任状提出2名

■定足数：監事 2 名・理事 21 名、計 23 名のため、12 名で過半数以上

■出 席：会 長) 宇田英幸 副会長) 伊藤伸、茂木有希子

理 事) 石川麻子、生方剛、大橋幸子、北村ミチル、倉元貴志、小池祐士、三枝佳代、阪井之哉、
鈴木香織、鈴木真弓、高橋啓吾、深井勉、星野裕亮、星野暢、平田樹伸、丸達也、

監 事) 欠席

福祉機器委員長) 鈴木康子

総務部) 彩の国東大宮メディカルセンター 北浦宏幸

■委 任：川俣実（監事）、土屋美樹（監事）安井宏

■欠席役員：川俣実、土屋美樹、田坂翔太

■他の欠席：埼玉県リハ専門職協会・コミュニケーションネットワーク川越) 渡部慶和

敬称略

■議 題：

I. 審議・検討事項

第 1 号議案 MTDLP 事例の書き方研修会の開催・会員向けの案内配布について（資料 1）

①MTDLP の事例の書き方研修会の開催について

MTDLP 指導者育成のため、MTDLP の書き方研修会を県士会で開催することが協会から指示された。8 月と 2 月の事例検討会のあとに 90 分実施、40 人募集予定。会場費の負担はないが、講師予算¥9000、資料代¥3000 円となり、1 回につき¥12000 円の支出が必要。以上を踏まえ、研修会開催について審議された。

8 月までに準備が間に合わない、あるいは参加者が少ない可能性あり。開催会場の見込みはあるため、事例検討会とは別日程で開催することが提案された。他の研修会日程と重複しないことを考慮し、時期は 10 月上旬とすることが満場一致で可決された。

②県士会員に向けての広報について

MTLP 研修修了者数について、県士会員 6 割を目標としているが、まだ少ない状況。定期便とともに広報することが満場一致で可決された。

第 2 号議案 第 47 回日本臨床神経生理学会学術大会案内の定期便同封について（資料 2）

上記の学術大会の広報依頼あり。定期便に同封について審議された。両面白黒印刷であれば県士会で印刷することとし、満場一致で可決された。

第 3 号議案 福祉機器委員会におけるアンケートの実施について（資料 3）

①自動車運転に関する県士会員へのアンケート実施について

アンケートの配布・返信方法について審議された。手間や経費から鑑みて、施設向けの OT 協会ポスター発送時に同封することが提案された。返信はホームメーカーを利用し、小池理事の協力を得ることとなった。QR コードと URL を紙面に記載、1 施設に一部を OT 責任者宛にアンケートを配布。11 月 12 日の会議（東京会場）に間に合うように作成することとなった。上記の内容とアンケート実施について満場一致で可決された。

②福祉機器委員会の予算案について

アンケート実施、会議開催など予算の不足が予測される。予算案修正について満場一致で可決された。

③自動車運転会議開催の県士会員への広報について

全国で行われる会議において、福祉機器委員が予算内での参加となるが、一般参加の募集あり。交通費の支給はない。県士会員で参加可能な人数を確認し、改めて県士会員の広報について検討することとなった。

第4号議案 大宮医師会メディカルケアステーション（MCS）団体登録について（資料4）

MCSは医療関係者が地域の患者の情報をネットワーク上で共有するシステムであり、埼玉県では活用に向け、大宮医師会が先駆的に導入を始めている。職能団体として埼玉県作業療法士会が団体登録し、管理者は茂木理事とすることが満場一致で可決された。

第5号議案 第27回埼玉県作業療法学会長（北部ブロック）について

次年度の学会は北部ブロックで開催。学会長候補として本田豊氏（日本医療科学大学）が推薦された。開催時期は、平成30年6月開催とした。以上について満場一致で可決された。

第6号議案 後援依頼について（資料5、6）

「第1回最後まで口から食べられる街づくりフォーラム全国大会」の後援、会員への案内郵送は満場一致で可決された。「交通事故被害者支援埼玉県講習会」の後援について満場一致で可決された。広報手段はホームページ掲載とする。

第7号議案 夏キャンへのOT県士会未入会者参加、謝礼・交通費支払いについて

組織強化も目的として、OT県士会未入会者の参加を認めること、謝礼・交通費の支払いも県士会員と同額とすることが満場一致で可決された。

第8号議案 認知症専門研修上級コース（今年度9月開催）予算、RUN伴について

①認知症実務者研修上級コースにおける費用負担について（前回理事会の継続審議）

9月開催の上級コースを対象に、費用負担の内容について以下の通り審議された。

1 グループ¥25,000を上限とする。交通費なしであることは明記する。経費の内訳は、会議費（弁当代として）、印刷・通信費、賃借料、雑費など勘定科目を明確にする。

②「RUN伴 2017」参加者の負担金について

- ・実行委員は県士会で参加費・交通費ともに全額負担し、伴走者は自己負担とする。
- ・伴走コースの1ブロック5人であるが、人数の上限は設けず、より多くの参加者を募ることとした。
- ・理事、各部署のサイボウズに案内を流し、会員向け広報はホームページで周知する事とした。

II. 報告・確認事項

1. 各部署活動報告

1) 事務局

大橋事務局長より以下の報告があった。

- ・役員就任依頼公文書を配布。確認の上、訂正箇所があれば三枝理事まで提出する
- ・役員変更登記の手続きを進めている。
- ・公文書発行や発送物についてのマニュアルをサイボウズの共有フォルダに保存する。種類によって、提出先や書き方を変更している。
- ・公文書の時候の挨拶は記載しない。

2) 法人管理部

三枝理事より以下の報告があった。

第1回理事会議事録ホームページにアップ予定。第3回理事会議事録は見直してサイボウズに。第2回

理事会議事録の署名を依頼。

3) 総務部

丸理事より以下の報告があった。

定期便の締め切り（20日）に遅れる場合は相談を。データはPDFではなくWordで送信をする。

4) 財務部（資料7）

北村理事より以下の報告があった。

- ・会計マニュアル最終案についての説明を行った。決算書作成は必須。スタッフへの謝礼は「日当」ではなく「謝礼」とする
- ・会議費の生じる会議では議事録を作成する。
- ・メンバーの変わった部署、新会計担当がいれば北村理事にメールアドレスを伝える
- ・研修会講師に対しては、会計上の齟齬がないように、公文書は求められるか否かに関わらず発行する。講師が変更になった場合以外は事前に決めた謝礼を支払う。

5) 学術部

安井理事欠席のため報告なし。

6) 生涯教育部

鈴木香織理事より以下の報告があった。

今年度から協会会員カードがバーコード付きになった。ただし使用方法の詳細は決まっていない。

7) 職能開発事業部

「第2回精神障害を専門としていない作業療法士のための研修会」を開催予定。広報は8/20締め切りの定期便で案内を行う。

8) 広報部

生方理事より以下の報告があった。

- ・ホームページリニューアルに向けて動いている。7月27日会議開催予定。
- ・HP管理の業務量増加に伴い、部員を募集。適任者がいたら紹介してほしい。企画があれば提案を。
- ・PCとスマホでの見え方に違いがあるため、デザインや骨組みを相談する。

9) 地域リハ推進部

平田理事より以下の報告があった。

「彩の国リハビリテーションフェスタ」第2回運営会議開催。開催日程は平成30年1月14日、ソニックシティ国際ホール。内容は「体験から知るリハビリテーションとは（仮）」。PT・OT・STの体験ブースを設け、小児・成人・高齢者のワーキンググループで運営。

- ・リハマップ更新年となっているため、活動を進めていく。

10) 地域包括ケア推進部

茂木理事より以下の報告があった。

- ・第2回ナイトセミナー開催。大変盛況だった。今後も前野氏には協力をいただきたい。
- ・第3回ナイトセミナーは9月13日開催予定。講師は医師。現在25名申し込み在り。訪問看護、看護師、医師に参加していただきたいため、広報を。
- ・高次脳機能障害について。家族会「共に生きるナノ」から、協力依頼あり、専門職が関わらない。OTに協力を。東京都板橋区では、高次脳機能障害の人に支援事業を行っている。埼玉県でも作業療法士会でも協力について検討してほしいとのこと。相談内容としては、ケアマネらへの障害説明（講師依頼）、行き場がないなど。ただし様々な背景、程度があるため情報の整理が必要。次回審議事項とする。

11) 認知症地域支援推進部

倉元理事より以下の報告があった。

9月の上級コースの案内を開始した。初級コース修了者に案内予定。現在は83名申し込みあり。中級コースは無事終了した。

12) 福利厚生・災害対策部

阪井理事より以下の報告があった。

- ・7月29日ベシック開催予定。現在29名申し込みあり、うちOTは4人。
- ・JRAT九州北部災害対策部が立ち上がった。
- ・JRAT 関東ブロックが活動開始している。千葉リハ吉永氏より、大規模災害リハビリテーション標準テキスト発行のためのアンケートに回答した。
- ・今年度中に関東ブロック大会予定

13) 制度対策部

石川理事より以下の報告があった。

関連研修に参加し情報収集をする

14) 各ブロック

東部) 小池理事より報告。7/20 研修会「語ら night」開催予定。33名応募あり。県立大にて夏キャン8/5・6開催。

西部) 深井理事より報告。8/5・6 文京学院大学で夏キャン開催予定。9/10 現職者共通研修 国リハにて開催予定。

南部) 鈴木香織理事より報告。7/22 上尾中央医療専門学校で夏キャン開催予定。4ブロック合同の打ち合わせ会議開催

北部) 星野裕亮理事より報告。8/5 日本医療科学大学で夏キャン開催予定。7/19 学生含めた打ち合わせ。事前会議

15) 訪問リハビリテーション振興委員会

星野暢理事より以下の報告があった。

- ・9/30、10/1 研修会開催予定。広報は次回の定期便に同封。STシンポジスト検討中
- ・OTの専門研修予定、座学中心。3月上旬。講師決定。
- ・1/20 在宅リハナース研修会開催予定

16) 生活行為向上マネジメント推進委員会

高橋理事より以下の報告があった。

8/27 事例検討会開催予定。発表者が少ないため、声掛けをお願いしたい。

17) 子ども支援委員会

田坂理事欠席のため、代理で平田理事から以下の報告があった。

- ・「小児を専門としていない作業療法士のための研修会」に関するアンケートに回答をお願いします。
- ・合同研修会には平田氏が参加した。「感覚遊び運動遊び実施研修」は日程・講師が決定した。

18) 福祉機器委員会

鈴木康子委員長途中退席の為報告なし。

19) 第26回埼玉県作業療法学会

安井理事が欠席のため報告なし

20) 埼玉県リハビリ専門職協会・コミュニティケアネットワーク川越

渡部理事欠席の為報告なし。7/21、22の合同研修会参加は募集を継続している。

2. 会長・副会長より

会長より)

- ・県士会活動の周知のため、活動報告ブログを作成しホームページに掲載。各ブロックでの活動報告をブログにあげてほしい
 - ・「入会」ではなく「参加」促進のための取り組みを。
 - ・9/9 の認知症専門研修上級者コースに中村会長を招待しているので参加を。
3. 監事より
欠席のため報告なし

Ⅲ. その他

次回理事会：平成 29 年 8 月 17 日（木） 501 会議室

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は 21 時 30 分閉会を宣した。

上記の議決を明確にするため、出席理事及び出席監事が次に記名押印する。

平成 29 年 8 月 17 日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会
